

## パークセンターの実施設計検討状況について

## 目 次

□ 第 4 回運営会議での指摘・検討事項と今回の整理	..... P. 1・2
□ 検討事項と今回の整理 1	..... P. 3
□ 検討事項と今回の整理 2	..... P. 4
□ 屋外全体計画案	..... P. 5
□ 植栽計画案	..... P. 6
□ 南庭パース	..... P. 7
□ 参考—イメージ写真—1—	..... P. 8
□ 参考—イメージ写真—2—	..... P. 9

## □ 第4回運営委員会での指摘・検討事項と今回の整理

運営会議での検討・提案事項	運営会議での指摘	今回の整理	備考	参考頁
1 薪ストーブの設置位置、床仕様、および薪置き場について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・煙突に横引きがあると煤などが付着し管理上問題にならないか</li> <li>・薪ストーブの灰の飛散への対策について</li> <li>・ストーブ周りの集い環境整備（段差をつけて座れるとか・・・）</li> <li>・薪置き場の位置なども考慮する必要がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>→計画位置は煙突の横引きを最小化できる位置に設定</li> <li>→ガラスフェイスタブ採用による焼却灰飛散等を防止</li> <li>→フラットな床面、ハードな床素材採用による清掃の容易化</li> <li>→段差を付けると動線・多目的ホール利用環境に影響がでる</li> <li>→多くの人が集いやすい多目的ホール中央部の壁面に沿って配置</li> <li>→パークセンター横から研修棟へ向かう渡り廊下の北側に軒下に薪置き場を設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>イメージ写真参照</li> <li>イメージ写真参照</li> <li>イメージ写真参照</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>P8</li> <li>P8</li> <li>P8</li> </ul>
2 ビジターホール・多目的ホールのモニター展示方法について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インフォメーション・展示などはモニター化の傾向があるため、対応を考慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>→モニター設置壁面を想定し、コンセント・LANケーブルなど整備</li> <li>→モニターなど機器類は本工事で計上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>イメージ写真参照</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>P8</li> </ul>
3 研修室の壁面仕上げとプロジェクターについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な用途に対応できる壁面の仕上げと映写方法などを検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>→妻側壁面をホワイトボード+コルクボード仕上げとする</li> <li>→プロジェクター配線を小屋組み梁部分に整備、</li> <li>→プロジェクター・スクリーンなど機器類は本工事で計上</li> </ul>		
4 家具・備品関係について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パークレンジャー活動に必要とされる家具・備品と当初設計に含むもの、含まないもの考え方を整理</li> <li>・薪ストーブ（委員の中でペレットストーブが好ましいのではと意見も有）</li> <li>・書庫可動式書架</li> <li>・コピー機・電話・フックスなど</li> <li>・事務室、研修室の湯沸し流し台</li> <li>・冷蔵庫・電子レンジなどキッチン備品</li> <li>・事務室、ボランティアルーム内椅子机家具など</li> <li>・パークセンター棟展望デッキのテーブル椅子など</li> <li>・可動式置ベンチ</li> <li>・可動式展示パネル</li> <li>・芝生広場に面した軒内空間のベンチ</li> <li>・多目的室内救護用家具・備品</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>→現場発生材活用の観点から薪ストーブ（ガラスフェイスタブ）の市販品置き型タイプを備品とも本工事で計上（二重煙突を含む）</li> <li>→市販品を本工事で計上</li> <li>→市販品（本工事外）</li> <li>→既製品流し台、換気扇を本工事で計上</li> <li>→市販品（本工事外）</li> <li>→市販品（本工事外）</li> <li>→室内外兼用で利用できるタイプ 軽量で移動が容易なタイプ スタッキング収納できるタイプを条件に選定 市販品（本工事外）</li> <li>→適切な既製品が無く、空間イメージに合う仕様で製作（本工事で計上）</li> <li>→適切な既製品が無く、空間イメージに合う仕様で製作（本工事で計上）</li> <li>→適切な既製品が無く、空間イメージに合う仕様で製作（本工事で計上）</li> <li>→市販品（本工事外）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>イメージ写真参照</li> <li>イメージ写真参照</li> <li>イメージ写真参照</li> <li>イメージ写真参照</li> <li>イメージ写真参照</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>P8</li> <li>P8</li> <li>P8</li> <li>P8</li> <li>P8</li> </ul>

【 ↓ 次ページへつづく 】

運営会議での検討・提案事項	運営会議での指摘	今回の整理	備考	参考頁
[1] 前ページからつづく]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビクターホール内情報コーナーの書架など</li> <li>・AED(ビクターホール、多目的ホール内設置)</li> <li>・研修室内道具入れ</li> <li>・研修室の机椅子、書架、作業台など</li> <li>・職員、ボランティア更衣室ロッカーなど</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>→本工事で計上</li> <li>→市販品(本工事後)</li> <li>→作り付棚(高さ240cm、奥行き55cm程度)を製作(本工事で計上)道具入れ等の内部収納家具、道具は備品(市販品・本工事後)</li> <li>→市販品(本工事後)</li> <li>→市販品(本工事後)</li> </ul>		
5 主要諸室の照明計画について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・センターが暗いイメージにならない程度の照明を確保する必要がある</li> <li>・事務室などの機能的な照度確保が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>→JIS規格による各部屋用途に必要な照度の基準値を確保</li> <li>→展示等使用用途に応じて間引き点灯、スポット照明など</li> <li>→JIS規格による各部屋用途に必要な照度の基準値を確保</li> </ul>		
6 外部の手洗・足洗い場について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多目的な使用形態に対応できる流し場の必要性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>→研修室棟の南側ガイダンス広場付近に手洗・足洗い、研修室北側デッキ軒下に流し台を設置</li> </ul>	イメージ写真参照	P9
7 外部フアイヤースペース(焚き火ピット)について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広場に火を使える場所があれば便利</li> <li>ピットなどが無いと消防の同意が得られない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>→基本的に露天での火の使用は「郷の館」周辺に集約</li> <li>芝生広場が狭く、木造建築であるためフアイヤースペースはつくりにくい</li> </ul>		
8 草屋根と越屋根の取合いについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・草屋根と越屋根の取合い部などデザインはどのようなに納める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>→越屋根軒先に小軒樋を設置、鎖樋で縦引きし、草屋根の透水層に導く</li> <li>→土の流失対策を行う</li> </ul>	図面参照	P4
9 外構計画について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「郷の館」方面からパークセンターへの動線があるほうが良い</li> <li>・シンボルツリーは常緑樹では暗く思いうイメージでは</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>→自然石階段、飛び石を設置(芝生広場内にも道が出来ないように、また芝生広場を分断しないよう自然な風情で設置</li> <li>→常緑樹は避け、地域性落葉樹を選定する</li> <li>→パークセンターが樹種選定</li> <li>→大輪会寄贈の紅白の梅を記念植樹</li> </ul>	図面、イメージスケッチ参照	P5/7
10 自動販売機について		<ul style="list-style-type: none"> <li>→公園利用者が認識利用がしやすい位置に自販機を設置</li> <li>→農家風情を損なう事の内容に自販機本体を周囲の壁と調和したかたちで囲う</li> </ul>		

# ■ 検討事項と今回の整理 1

## 1. 新ストーブの設置位置・床仕様および薪置き場について

- ・ 求心的なホールで煙突の横引きを最小化できる位置に設定
- ・ ガラスフェイェイ入ストーブ採用による燃焼灰飛散等の最小化
- ・ ストーブ周りは石敷とし、周辺でフラットな仕上げとすることによる清掃の容易化
- ・ 動線環境に影響が無く、四季を通じての室内環境を考慮しフラットな床面に対処
- ・ 薪置き場を軒下空間に設置、ストーブ横には1日分の薪置きスペースの確保

## 10. 自販機の設置スペース確保

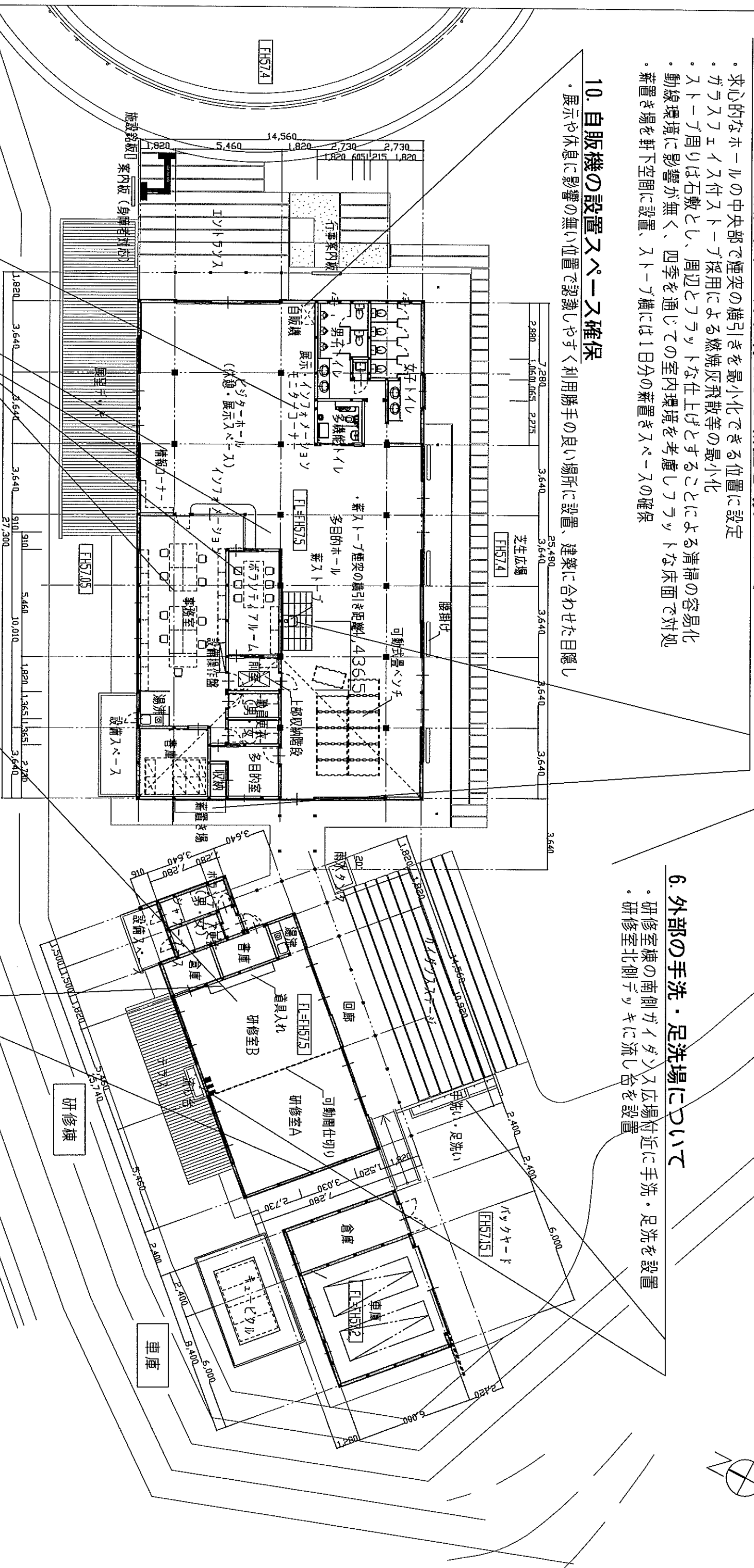
- ・ 展示や休息に影響の無い位置で認識しやすく利用勝手の良い場所に設置、建築に合わせた目隠し

## 7. 外部フアイヤープレイス (焚き火ピット) について

- ・ 基本的に露天での火のめ使用は「郷の館」付近に集約し、パークセクターには設置しない。

## 6. 外部の手洗・足洗場について

- ・ 研修室棟の南側ガイダンス広場付近に手洗・足洗を設置
- ・ 研修室北側デッキに流し台を設置



## 4. 主要諸室の照明計画について

- ・ JIS規格による各部屋用途に必要な照度の基準値を確保
- ・ ホール等は使用用途に応じて間引き点灯やスポット照明の活用など考慮

## 情報コーナー

- ・ 公園の活動冊子、パンフレットや市の観光案内、自然情報を発信する情報コーナーをインフォメーション横に設置

## 2. ホール内でのモニター展示方法について

- ・ モニター設置壁面を想定し、コンセント・LANケーブルなど整備
- ・ モニターなど機器類は本工事で設置

## 3. 研修室の壁面仕上げ・道具収納と各種設備機器について

- ・ 南西側妻面の壁はホワイトボード+コルクボード仕上げ
- ・ プロジェクター、マイク設備を設置できるよう配線設備対応
- ・ プロジェクター、スクリーンなどは本工事で設置
- ・ 道具類等の造り付収納棚(高さ240cm、奥行き55cm程度)を設置

STEP. 実施設計 (案)

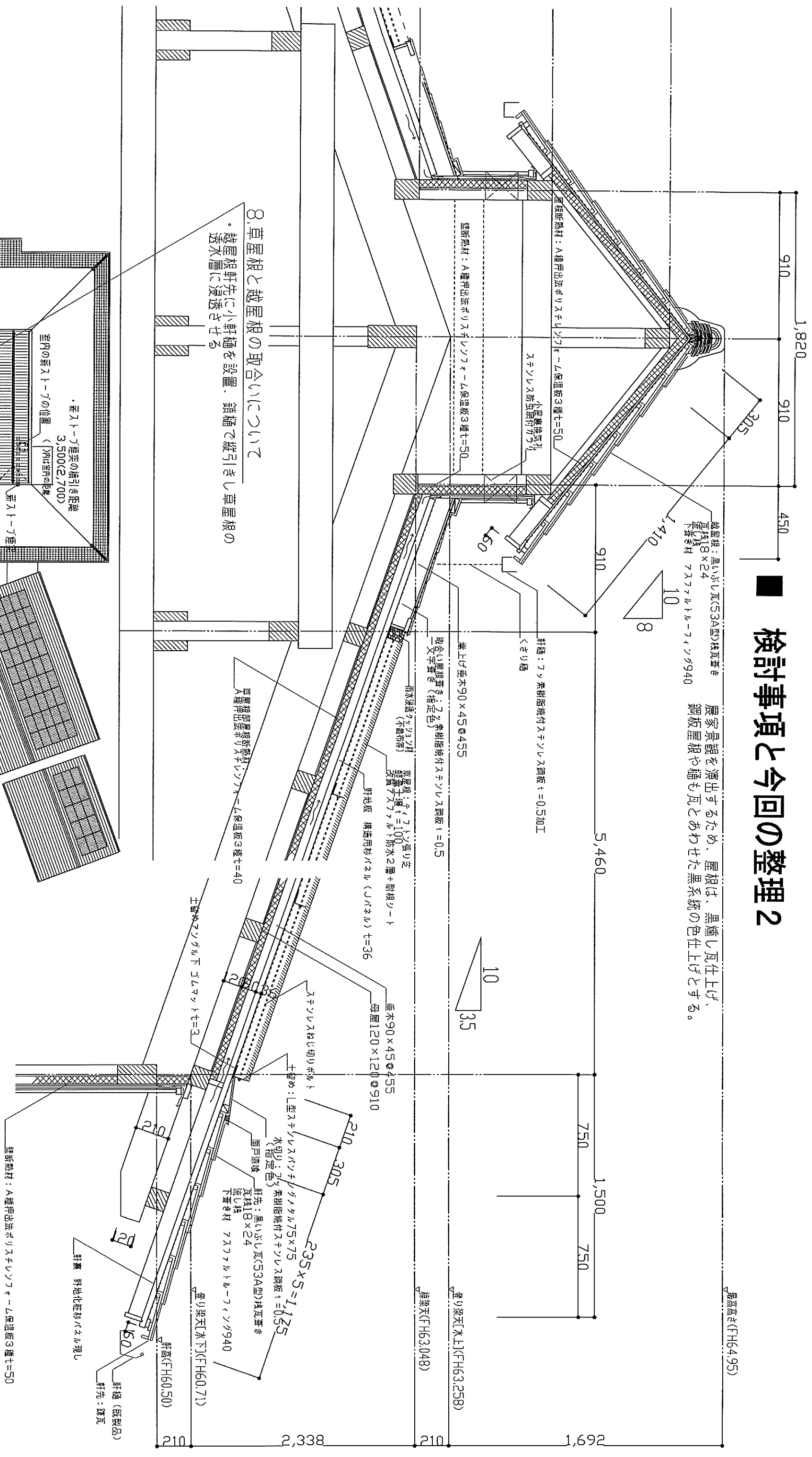
TITLE. 平面図

SCALE. S=1:200

DRAW NO.

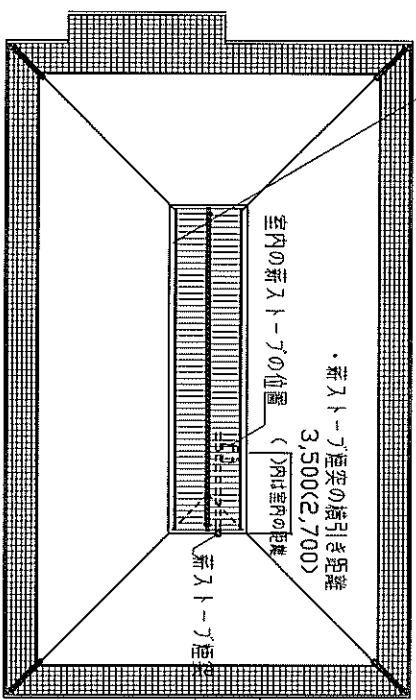
# 検討事項と今回の整理 2

農家景観を演出するため、屋根は、黒煙シ瓦仕上げ、  
鋼板屋根や樋も樋も瓦とあわせた黒系統の色仕上げとする。

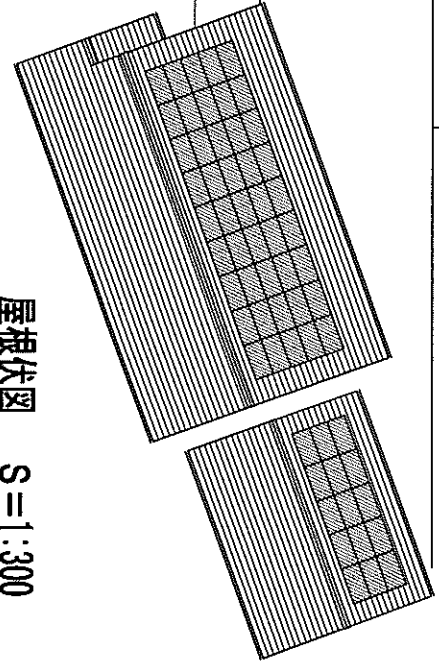


## 8. 草屋根と越屋根の取合いについて

・越屋根軒先に小軒樋を設置、鎖樋で縦引きし草屋根の透水層に浸透させる



屋根伏図 S=1:300



STEP. 実施設計 (案)

TITLE. 屋根取合い詳細図 S=1:20

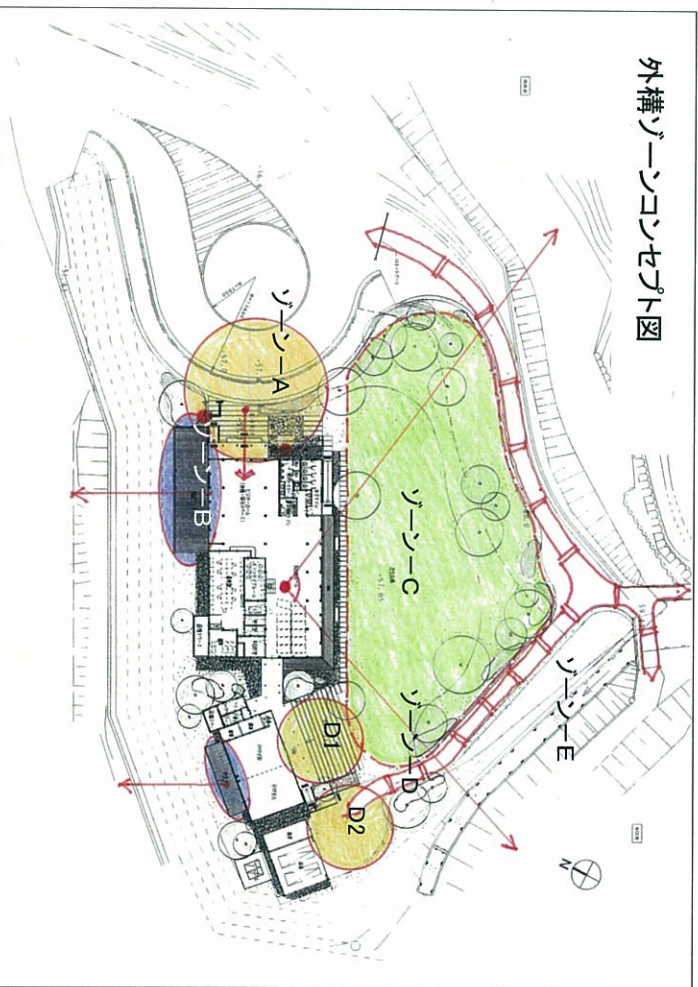
DRAW NO.

# □屋外全体計画案

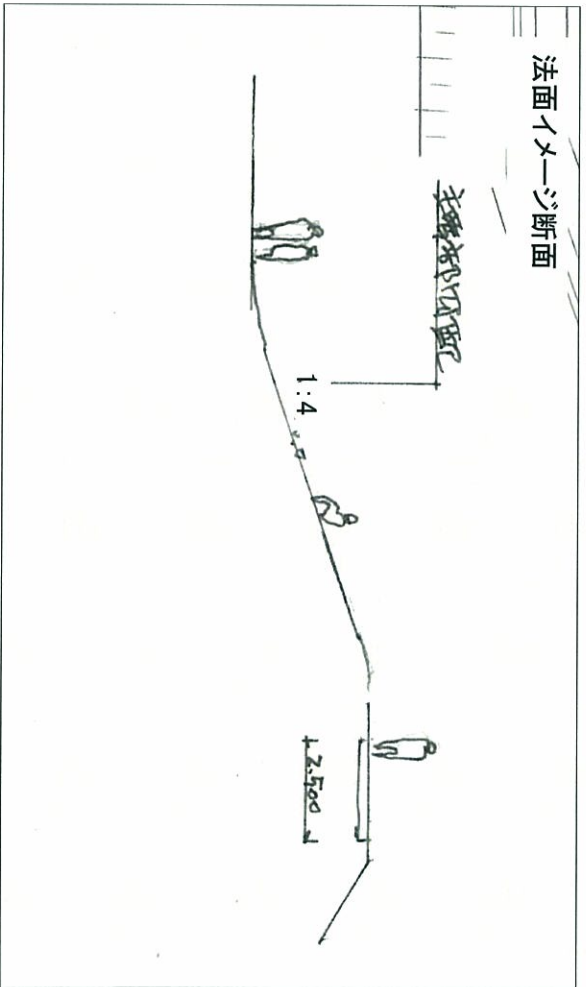
## □パークセンター屋外ゾーンコンセプト

- ゾーン-A・・・東側は、ロータリーと連携したエントランス広場
- ゾーン-B・・・北側は、室内から繋がった展望休息テラス
- ゾーン-C・・・南側、東から中央部一帯  
休息・団欒を中心とした多目的広場
- ゾーン-D・・・南側、西端部付近  
センター多目的スペースからのピクチャーガーデン
- D1：研修棟と連携したシクチャー・作業スペース
- D2：車庫前は車寄せ・荷捌き・作業スペース
- ゾーン-E・・・南端部は、車輛アプローチ・連絡園路

## 外構ゾーンコンセプト図



## 法面イメージ断面



## □施設整備の考え方

- ・周辺の自然環境やパークセンター等の農家風建築と調和した景観環境を形成するため、自然素材を基本とした素材構成・デザインを行うと共に、求められる機能を満たしながら最小限の施設整備に留める。
- 舗装計画  
・自然系素材を基本とし、花崗岩板石舗装、自然石飛び石、自然石階段、砂利敷、土系舗装、木製デッキを整備する。
- 休養施設計画  
・自然素材の木・石を主要素材とした縁台を緑陰広場に整備する。
- 便益・管理施設計画  
・総合案内板、催事掲示板を木製構造でエントランス部に整備する。  
・管理用スロープ水路側および南側園路水路側に安全柵を整備する。

## 2・園路 (管理用通路、w=2.5m)

自然と調和した、管理用道路機能を持った園路を整備する。

## 1・芝生貼り法面

(1:2.0~1:4、法肩・法尻ラウンディング)

## 8・植栽 (エノキ・山桜・柿・梅等)

地域の特徴、農家の特色を感じさせ、南側の丘陵樹林と調和した植栽を行うと共に緑陰植栽を行う。

## 3・エントランス広場

パークセンター前の集合待合機能を持ったエントランス広場を整備する。

## 4・芝生多目的広場 (約 1000 m<sup>2</sup>)

パークセンター南に、豊かな自然の広がりを感じさせる、法面まで取り込んだ芝生広場を造成する。

## 5・管理用通路 (w=2.5m)

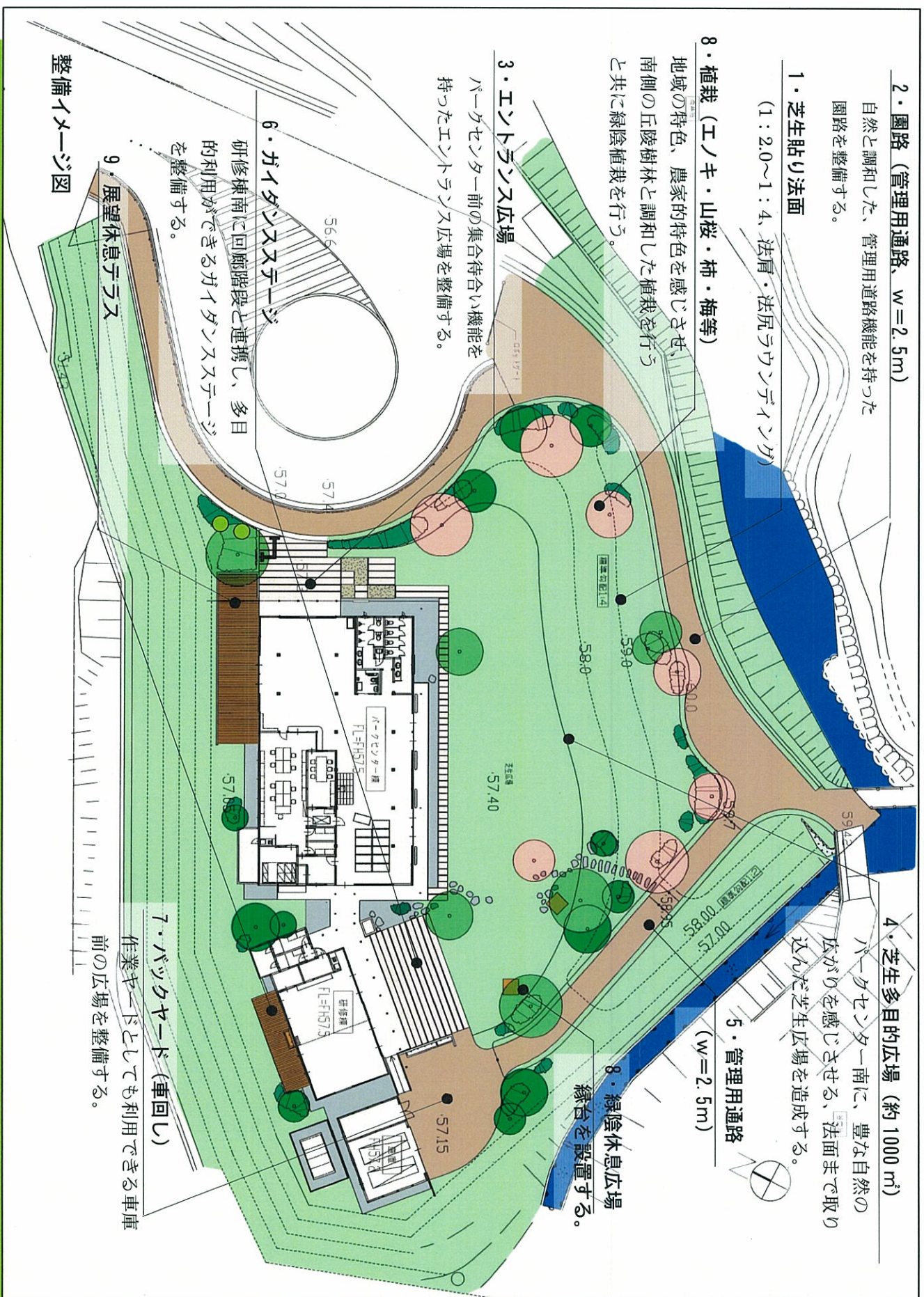
## 8・緑陰休息広場 縁台を設置する。

## 6・ガイダンスステージ

研修棟南に回廊階段と連携し、多目的利用ができるガイダンスステージを整備する。

## 9・展望休息テラス

整備イメージ図



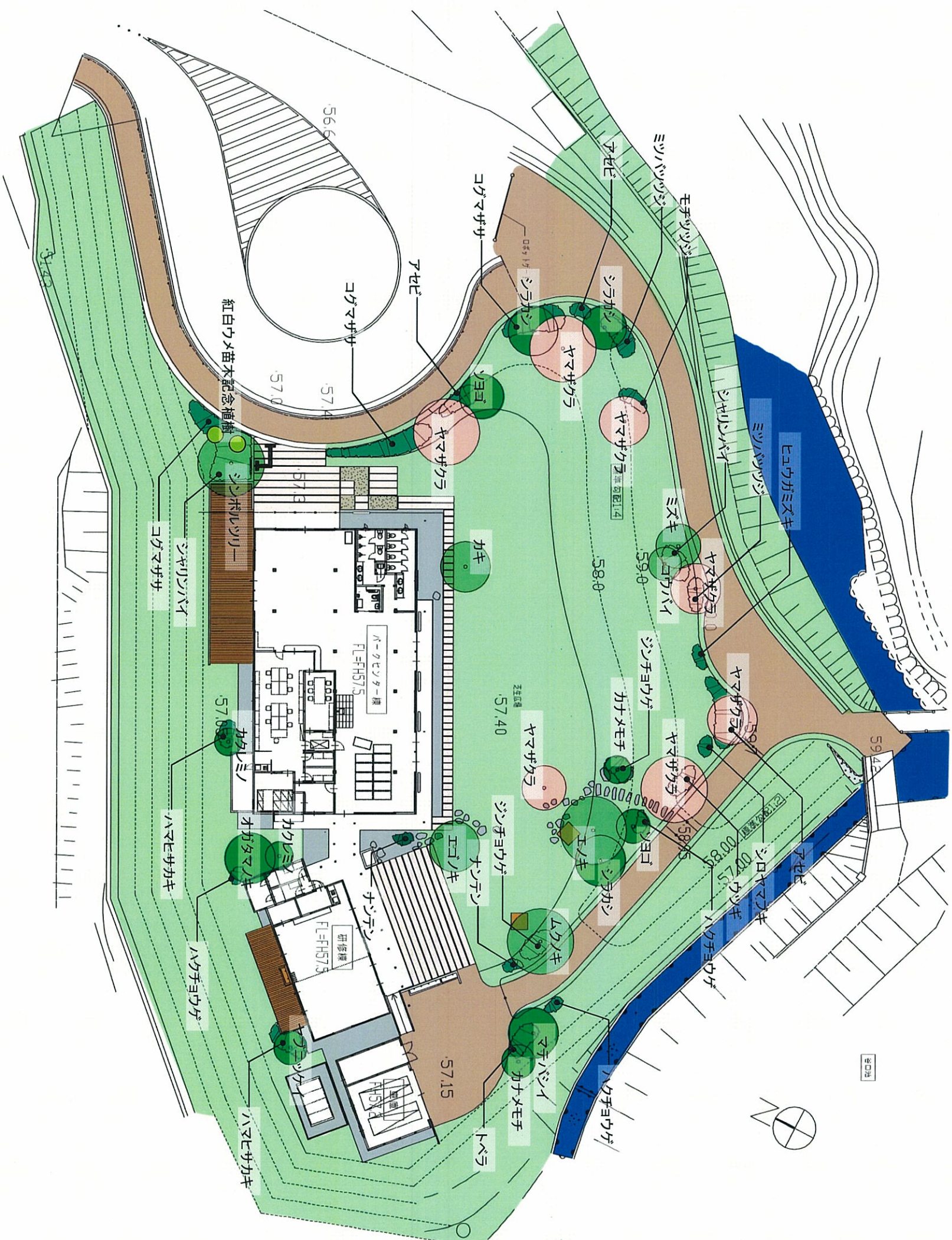
## □ 植栽計画案

### □ 全体植栽景観の考え方

- ・パークセンターおよび研修棟南側は、山麓部の樹林と調和し、大きな芝生の広がりを感じることができる自然風植栽を行います。
- ・農家風情を楽しめるよう、春告げの梅、春の宴の山桜、秋の実りの柿などを添景として植栽し、木陰の癒し環境を整備します。
- ・パークセンターおよび研修棟北側は、閑空方面への眺望を確保するため、最小限の遮蔽植栽に留めます。

### □ 植栽ゾーニング

- ・エントランス植栽
  - ・エントランス広場北側に、草屋根のパークセンター棟と連携し、魅力的な風景を感じることのできるシンボルツリーを植樹します。
  - ・シンボルツリーは、パーククラブの想いをいかした樹種とします。
  - ・パークセンターエントランス前には、大輪会寄贈の紅梅・白梅の苗木で開所式の記念植栽を行います。
- ・南庭植栽
  - ・広がりのある芝生の景観・環境をパークセンター南側から土手道まで整備します。
  - ・芝生広場の広がり確保しつつ、現況樹林との連携に配慮し、景観ポイントに山桜を主とした地域性樹種による木立を配します。
  - ・研修棟前広場南東部は、管理用道路土手景観の緩和と西側堰堤のササユリの借景を楽しめ、また緑陰休息環境を確保できるよう雑木の木立を植栽します。
- ・北側植栽
  - ・屋外機器置場、キュービクル等の設備を緩和・遮蔽する最小限の常緑樹を植栽します。







# □参考イメージ写真—1—

1 薪ストーブの設置位置、床仕様、および薪置き場について



→ ガラスフェイスのある置き型薪ストーブのイメージ  
 薪の爆ぜ、火のこの飛散の心配の無いガラスフェイ  
 スアタシーサービスに配慮し、据え置き型既製品から  
 選定

2 ビジターホール・多目的ホールのモニター展示について



→ インフォメーション・展示などに対応する  
 壁取り付けモニターのイメージ

## 4 家具・備品関係



→ 書庫内の可動式書架のイメージ



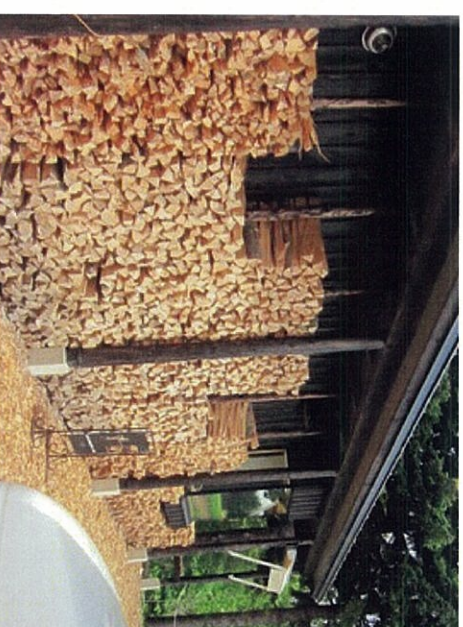
→ ストーブの設置位置は、壁を背にし、横引き煙突  
 配管が最小化できる箇所を選定  
 → 床面は、清掃が容易なハード素材による、フラット  
 仕上げ



→ 環境教育のための太陽光発電モニター  
 草屋根・瓦屋根温度センサーによる温度揭示等



→ 展望デッキの椅子・テーブルなどのイメージ  
 自由にレイアウトが変更でき、積み重ね収納が可能な  
 木製もしくはアルミ等のテーブル・椅子セット



→ 軒下での薪置き場のイメージ  
 ストーブへの運搬が容易で、目立たない書庫東側  
 軒下に設定



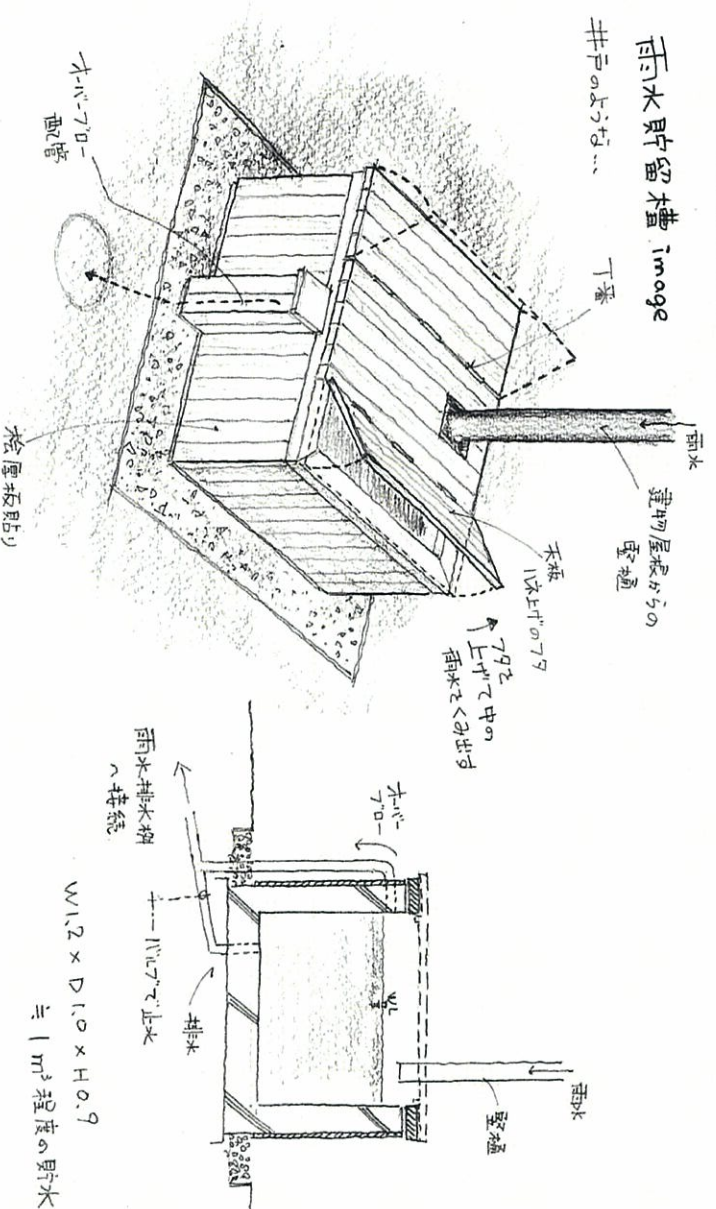
→ 多目的ホールの可動敷き畳ベンチのイメージ  
 内部収納タイプ



→上記4点、芝生広場側軒内のベンチイメージ  
ゆったりと腰を下ろして休むというより、ちよこつと腰掛ける程度の止まり木のような腰掛け  
造りつけ家具なら可動式でも固定型でも対応可能、パークベンチャー製作なら可動式

5 外部の手洗・足洗い場

雨水貯留槽イメージ



→研修室北側デッキの手洗流しのイメージ  
手洗い場・足洗い場とも「郷の館」の軒下にあるものと同程度を想定  
ガイダンス広場から見えないよう目隠しスリットもしくは板扉を設置

